

西部センターだより

2号

H24・7・9

年度が始まってから早いもので3ヶ月。蛍の飛び交っていた時期もいつしか終わり、気がつけば、もう梅雨明けを待ち望む時節となりました。皆様方には、お元気で過ごしてでしょうか。本日「西部センターだより2号」をお届けします。

5月、6月には、センターと邑南町の2か所で「養成講座」を開催。本年度新たに32名の親学ファシリテーターが誕生し、西部では総勢83名となりました。中でも特筆すべきは、初の学生ファシリテーター（県立大学生）2名が誕生したことです。

基礎研修（「基礎から学ぶ島根の社会教育」「地域課題解決のためのワークショップ」）では邑南町、川本町へ出前講座に出かけました。

課題別研修（親学プログラム体験講座）では、江津市、専門研修（学習プログラム企画・立案力アップ講座）では、津和野町にお邪魔しました。

また、各地で「親学プログラム」実施の機運が高まり、ファシリテーターのみなさんの活躍の場が増えてきています。「出かけ先で、『いい出会いだった。また来年も来てくださいね。』と声をかけられることが嬉しく、次への活力につながります。」と熱く語るBさんの言葉が耳に残っています。

本年度新規に立ち上がった市町村支援事業も、各市町の教育委員会や派遣社教主事のみなさんの協力で、順調に稼働しています。

広い地域を守備範囲としている当センターです。これからも、「出前講座」を中心に各地に出かけてまいります。「ようきんさった」「ようきたなあ」と温かく迎えてくださる言葉を糧にスタッフ一同心を新たにがんばる所存です。よろしく願いいたします。



親学プログラム

研修の様子をお伝えします①

基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座(浜田・邑南)

【浜田会場】

期日：4月14日(土)

会場：いわみーる401研修室

講師：県教育庁社会教育課 木村真介 氏

【邑南会場】

期日：5月16日(水)

会場：邑南町健康センター（元気館）

講師：浜田教育事務所 寺本典則 氏



浜田会場



邑南会場

公民館職員、社会教育関係者等を対象にして、「生涯学習と社会教育の違いとは?」「公民館職員に必要な力は?」など、社会教育の基礎的な部分を学習しました。

参加者からは「今まではっきり分からなかった生涯学習と社会教育の違いがよく分かった」「公民館職員として目指す方向が見えてきた」「講師の先生の話から元気をもらった」などの感想が多く聞かれました。

参加された皆さんが熱心に話している姿が強く心に残った講座でした。

研修の様子をお伝えします②

親学ファシリテーター養成講座(浜田・邑南)

【浜田会場】

期日：5月24日(木)～25日(金)

会場：西部社会教育研修センター302研修室

【邑南会場】

期日：6月8日(金)～9日(土)

会場：邑南町健康センター(元気館)

島根大学生涯学習教育研究センター准教授、日野伸哉氏を講師にお迎えし開催されました。受講生の皆さんは、2日間の長丁場の研修を「気力」「体力」「持久力」で乗り切られました。笑いあり、緊張あり、でも最後は充実に浸ることができた研修でした。自分たちで親学を進める時には、誰もが個性あふれるファシリテーターぶりを発揮されていました。

参加者からは、「最初はドキドキ、途中はワクワク、最後は充実感を感じた研修だった」「自分の成長のためになった」「職場内の研修や地域活動で実際に親学をしてみたいと思った」などの感想が聞かれました。

この研修で浜田会場18名、邑南町会場14名の親学ファシリテーターが誕生しました。これからの活躍が本当に楽しみです。



浜田会場



邑南会場

学習プログラム企画・立案力アップ講座

期日：6月20日(水)～21日(木)

会場：津和野町日原山村開発センター

「自分のまちにこんなヒト・モノ・コト」があったいいなあ」という夢を語るころから講座はスタート。参加者からは、「夢みたいなことでも、目的をしっかりとつことで、現実に近づいていくことが分かった」「プログラム作りはとても楽しかった。公民館でもやってみようと思う」などの感想が聞かれました。どのグループも、自分たちの夢が盛り込まれた素敵なプログラムを作ることができました。



津和野会場



西部センターだより 2号 2012年7月9日発行

発行所 島根県立西部社会教育研修センター 〒697-0016 浜田市野原町1826-1 (いわみーる3階)
TEL: (0855) 24-9344 FAX: (0855) 24-9345 Eメール: seibu_shakaikyoku@pref.shimane.lg.jp